



知
り
た
い
の

こ
の
熱
の
先
が

Ace of Diamond
unofficial fanbook
Furuya♥Haruichi

R-18



あっ♡



…入ります
栄純君います

か…

カ
チャ



すみません

カ
チャ



あっ♡

あっ♡



お邪魔しました

待て
待て
待て

ば
たん。



もっとお♡



あと用事も
急ぎじゃないので

ぼぼ
僕は
いいです……っ



失礼しますっ



沢村なら走り
行ってるぞ

えっ

戻ってくるまで
一緒に見ような

がしっ



逃げられた
引かれ
ちやっただかな

今のの
どこに引く
要素が!?

さしつかえなく
さしつかえなく



小湊って
そういうイメージ
ないっていうか

……



興味ない
わけないだろ
あいつも男なんだし

やしでも
実際なんか
なあ?



ア~~~~~

前は
ああいうのを
見ると漠然と



いつか僕も
あんな風に女の子と
とか



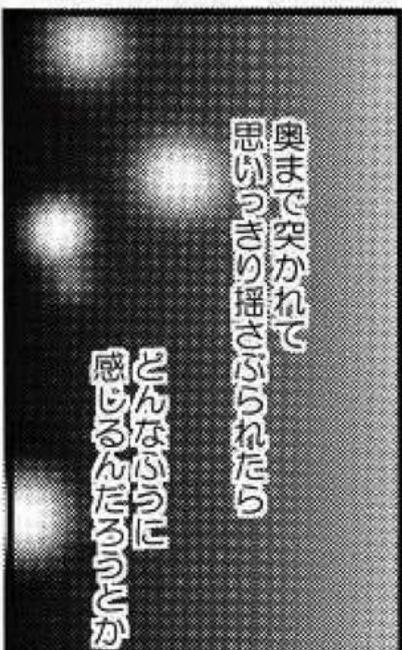
さわやかな
気持ちで
か

そういう感想
だったのに



どくん

まさか
う……



奥まで突かなくて
思いっきり挿れたい

どんなふうに
感じるんだろうか



どくん

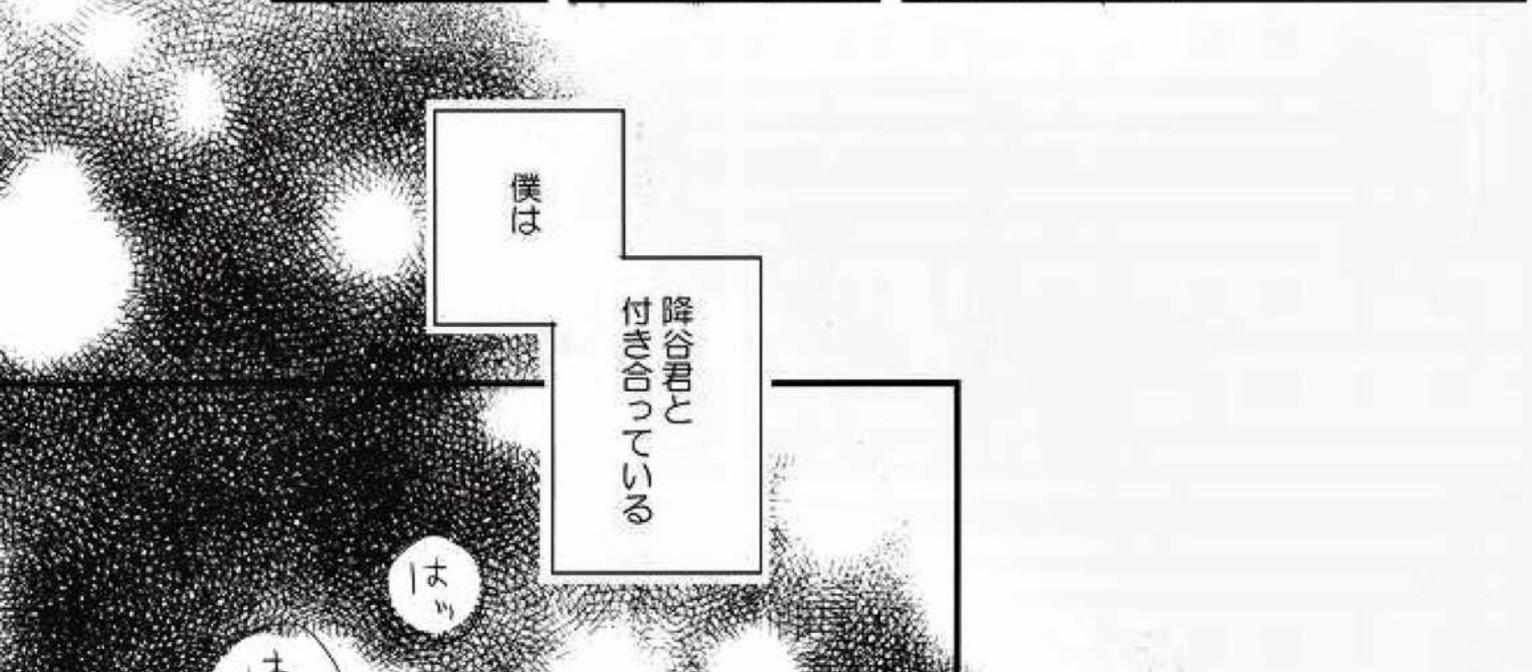
間違っても
男が持っても
感想じゃない

『羨ましい』
なんて

どくん

どくん







ほ

かっこみて

かっこみて
でも放つて
おけない人で



はあ

降谷君は
同じ野球部の仲間で
クラスメイト

はあ

1年生なのに
もう全国レベルで
注目されてる投手で



とても
大切な人だ

まきり
よね...



はあ

可愛くて

繊細で



小湊君

こっち

うわ、



すっ

寮の近くの
人來ないポイントに
無駄に詳しく
なってしまった...

絆される形で
始まった関係だけど
多分嵌っているのは
僕の方だ





降谷とは
最後まででした？



で

ニヤ



御幸先輩…

降谷君には
ぜっつっつっつっつ
たいそんな言い方
しないでくださいよ

いや

もちろん
俺だって
相手選んでるって



そうか
まだか



俺今まで散々あの
あんぼんたんの
励ましてきたんだから

ここまできたなら
双方からの自主的な
定期報告を要求する

確かに御幸先輩には
色々とお世話になってるって
聞いているのでそこに関しては
頭上がりませんけど

こればかりは
ナイーブな問題すぎて
お答えできませんっ

といふかなんでこの人
途中までしてることは
知ってるんだらう…

降谷が押し切って
一気に進むと
思ってた

僕もそう
思ってしまったけど

なんか…そこは
待ってくれてる
感じします

…

多分お互い
どっちがどっちって
なんとなく分かってるし

そういう問題は
ないんですけど

ただ

もしここで
僕と最後までしたら

降谷君は一生
『男と最後まで
した人』に
なっちゃうから…

それを言うなら
お前もじゃん

僕はいいん
ですけど

降谷君は
今ここにある気持ちに
忠実な人なので

僕がしっ
しないよ

…

言わんと
してることは
わからないけど
でもないけど





かわいいなあ

降谷君は



be... able to...
?? going... to...?
to... doing...?

このポジションを
誰かに譲るとか

絶対に
思わないけど



本当に僕にだけ
懐いてると思っ

誰にでもそうする
タイプではないと
分かっているから
尚更愛しい



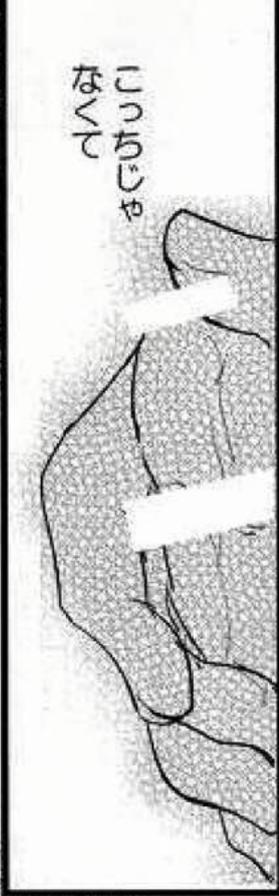
でも降谷君は

思っ

いつまで一緒に
いれるんだろうな

とかは

そんなこと
書きたくないよ





あ...

ん...



あ...
ん...



あ...
ん...
変な感じ

あ...
ん...
これでいいのかな



あ...
ん...
まじっ
長い指だったの

あ...
ん...
が...
あ...



あ...
ん...
痛くは
ない、た
ま...

あ...
ん...
なんか
か...

あ...
ん...
は...
あ...



あ...
ん...
ん...



小湊君
だよな…?

…

泣いてるの？

大丈夫？

降谷君は…



降谷君

確かには…と泣いてるけど…



とにかく
出なきゃ

大丈夫

今出る…!!

小湊く…

ごごめん
別になにもないよ

降谷君こそ
どうしたの
こんな時間に

トイレ行きたいって
思ってたよ…

そしたら
奥の部屋から
小湊君の声
聞こえてきたから





……

あ、あの……

これはね
なんという

…僕の部屋



今日先輩
居ないんだ

試験前の追い込みで
徹夜勉強会だって



だから



……



死ぬほど
気まずい...

...あのね

僕...
あれ何に使うものか
知ってるよ

うん...

小湊君といたくて
調べたから...

...

僕は

あ...
そうなんだ
しい

しんから何せ
しんがすまが
しんがすまが

君が嫌がることは
したくないから

このままでも
いいかなって
最近思ってたんだ

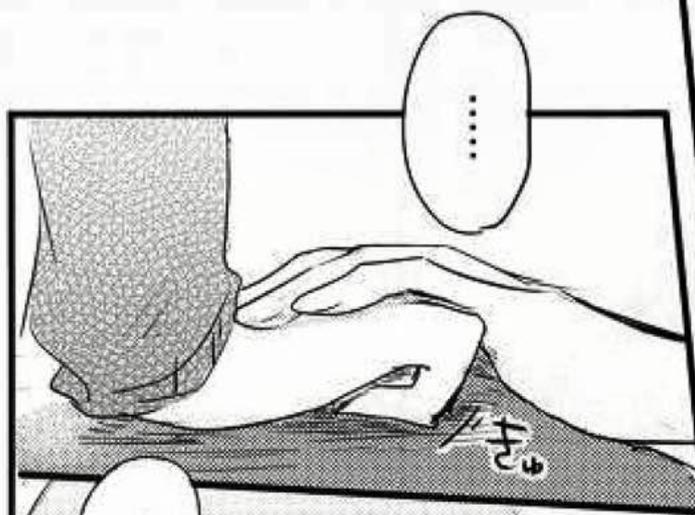
今でも十分
気持ちいいし

なにより一緒に
いれるだけで
嬉しいから

でも

...だけど







だってもう

これ以上は
冗談じゃ済まされ
ないんだよ…？

わかっていたことだ
最初から

この瞳からは
逃げられない



小湊君は今まで僕と
冗談でここまで
してきたの

そんなわけ…っ



…



だ…っ



!?

ちゅ
ちゅ

ちゅ

ちゅ



あ、

や、

やだ…

きもちいこと、
しないで…っ

何も
考えれなくなる

君が言ってることと
やってること
ぐちゃぐちゃだから
もう黙って…

う…

それは否定
できないけど

でも



小湊君が

心配してること…
僕はたぶん全部は
分かってないけど



でも二人とも
したいことを
なんで我慢
しなきゃいけないの

何の…

誰のために



未来の

君の為に

FURUYA

でも嬉しい

そんなのは
言い訳で



ただ僕が
怖かっただけ



いよいよ
この気持ちを

『君の至』
だったと

蓋を閉じられ
なくなるじゃ



降谷君

降谷君が

好きだよ





いつか後悔するときに
くるかもしれないけど

僕は今こんなにも
降谷君が好きだから

だから

ちゃんと
最後まで

したい……



うん……



まあ……

後悔するかどうかは
やってみないと
分からないから

後悔したら
その時一緒に
考えよう



は



は









あのね





うん！
しかも
知り合いに会ったら
恥ずかしいから
3駅先まで買いに行った



あー：
あれは
いつかのために
買ってずっと
しまってたやつ…

え、自分で
買ったの！？
て、まり御幸先輩に
持たされたの？



そんなに
おかしい？

いや、



実は僕も
あれ買いに行く時
けっこう離れた駅まで
行ったんだ

考えることは
一緒なんだなって
なんか嬉しくて
安心して
笑っちゃった



うん…
嬉しい



小湊君に会って
いろんな、はじめてのこと
いっぱい知れて
嬉しい



恥ずかしいことも
うまくいかないことも
あるけど

一緒だから
大丈夫



うん：

うん

僕も
これからが楽しみだな



Ace of Diamond un-official fanbook

marigold

2015.03.15